

## 4日目のスケジュール

- 6:30-7:30 朝食
- 8:00 ホテル出発
- 9:00 ボーイング社到着 5名の研究員によるプレゼンテーションと質疑応答
- 11:00 NASA 研究員によるレクチャー
- 12:00 SPACE Xの展示見学
- 14:00 元宇宙飛行士 Don Thomas 氏の講演
- 15:30 America Space Museum 見学
- 17:30 レストランにて夕食 NASA 研究員の講話
- 20:00 ホテル帰着

今日のオーランドは最高気温 27 度。この街にしては暑くなく寒くなく、一番良い観光シーズンということで、レストランの混雑を避けるために、少し早めの 6:30 から朝食を摂り、ホテルを出発。

まずは、世界最大の航空・宇宙企業ボーイング社を訪問。5 名の研究員の方から、ボーイング社の宇宙開発に関する取組みに関して、動画を使いながら解説をしていただきました。講演自体は同時通訳を付けて行いましたが、質疑応答では通訳を使わず英語での質問にチャレンジする生徒が多かったです。時間が限られていましたが、10 名以上の生徒が挙手をし積極的に学び取ろうとする姿勢が感じられました。



その後、すぐに NASA に移動して、NASA の研究員で植物学者のジョイア教授のレクチャーを受けました。内容は、宇宙空間での植物栽培に関するものでした。将来、人類が宇宙で長期間滞在するにあたって、食物調達、特に新鮮な野菜の調達は重要な問題であり、宇宙空間でどのように栽培をするのか、試行錯誤をしながら研究している成果を紹介いただきました。このレクチャーの後でも、10 人以上の生徒が質問を希望し、活気ある質疑応答が行われました。



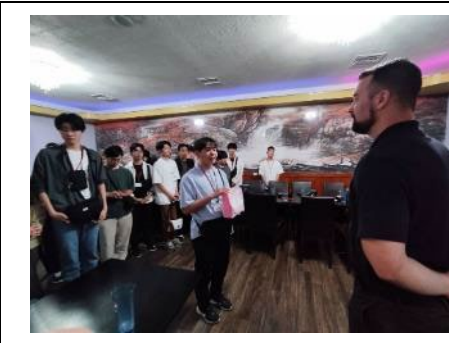
レクチャーの後、SPACE X の展示を 30 分間見学し、SPACE VIEW PARK で昼食。America Space Museum に移動して、元宇宙飛行士の Don Thomas 氏の講演を聞きました。宇宙飛行士としてスペースシャトルに乗り、4 回のミッションをこなした Don 氏ですが、宇宙飛行士として NASA に採用されたのは 4 度目の応募。3 回も不採用が続いたけれども、6 歳のころからの夢だった宇宙飛行士になることを諦めず、仕事をしながら採用されるための努力を続けた経験から、生徒たちに、「諦めずに日々努力を続けることの重要性」を熱く語っていました。また、実際に宇宙に行った実体験に基づく、スペースシャトルでの生活や宇宙での研究の話聞いたことで、生徒たちは宇宙に行くことを身近に感じられたかもしれません。



講演後は、Space Museum の内部を見学。ガイドさんの解説を聞きながら展示物を見学し、アメリカの宇宙開発の歴史を学ぶことができました。



夕食のレストランには、NASA の研究員の Matt さんに来ていただき、彼の携わる Gateway Project の概要を説明頂きました。現役の研究者から、いま行われているプロジェクトの話聞くことで、宇宙開発の最先端の情報に触れることができました。



今日は、NASA とボーイング社で宇宙開発に携わる研究者、合計 8 名から貴重なお話を聞かせていただきました。また、それぞれの講演の最後には、生徒代表が英語で感想とお礼の言葉を伝えることができました。明日行われる NASA の見学で、これらのお話が役に立ち、より理解が深まると思われます。

ホテル帰着後は、今日一日の振り返りを行いました。研修最終日となる明日を有意義に過ごすため、各自目標を設定して、4 日目の研修は終了となりました。